

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 道 徳

調査研究報告書

(小委員会名： 道徳)

1. 調査研究の経過及び内容	<p>□第1回教科用図書調査委員会 第1回道徳小委員会 (6月19日)</p> <ul style="list-style-type: none">・調査研究の日程調整、要領確認をする。 次回部会までに各自参考資料の熟読と協議資料の作成を行う。・資料配付する。 <p>□第2回道徳小委員会 (7月7日)</p> <ul style="list-style-type: none">・調査研究結果を交流する。 道徳の目標や学習指導要領に準拠した各学年の記述内容、及び内容の排列、構成、分量、使用上の配慮等、各教科書について細部にわたり検討する。 <p>□第3回道徳小委員会 (7月17日)</p> <ul style="list-style-type: none">・各教科書の編集の趣旨をふまえ、それぞれの特性を吟味し、採択参考資料としてまとめる。・教科用図書採択参考資料を報告書として整え、委員長に提出する。
2. 調査研究の具体的資料	<ol style="list-style-type: none">1 教科書編修趣意書2 採択参考資料3 学習指導要領解説4 その他 (釧路市、釧路町で使用している中学校道徳の教科書) (釧路市、釧路町の中学校で作成されている道徳の年間指導計画)
3. 少数意見等	

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	2・東書	第1学年	道徳・701	新訂 新しい道徳1																												
		第2学年	道徳・801	新訂 新しい道徳2																												
		第3学年	道徳・901	新訂 新しい道徳3																												
取扱内容	<p>○生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～今までに、命の大切さやありがたさを実感したのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～生命の尊さを心に刻んで生きていくためには、どのような気持ちが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～命を大切に生き抜いていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～自分たちと自然とのつながりを感じるの、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～野生の生き物などを含め、自然とどのように関わっていくことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～自分が関わっていくことができる自然を守る活動には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～郷土に住み、郷土の一員であることを実感できるの、どのようなときかを考える活動</p> <p>第2学年～郷土のために自分ができることは、どのようなことがあるかを考える活動</p> <p>第3学年～自分たちの郷土には、どのような伝統や文化が受け継がれているかを考える活動</p> <p>○情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p> <p>第2学年～メッセージアプリを扱い、友達との友情を育てていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p>																															
各学年の学習指導要領の総則及び各教科、内容等																																
排内	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの手順を示す「話し合いの手引き」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示す「アクション」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p>																															
列容																																
の																																
分構	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A主として自分自身に関すること</th> <th>B主として人との関わりに関すること</th> <th>C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th>D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</th> <th>E複数の内容項目が含まれている教材等</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学年</td> <td>7教材(36頁)</td> <td>8教材(30頁)</td> <td>14教材(67頁)</td> <td>8教材(40頁)</td> <td>(16頁)</td> <td>37教材(189頁)</td> </tr> <tr> <td>2学年</td> <td>7教材(30頁)</td> <td>7教材(37頁)</td> <td>14教材(72頁)</td> <td>9教材(45頁)</td> <td>(13頁)</td> <td>37教材(197頁)</td> </tr> <tr> <td>3学年</td> <td>7教材(35頁)</td> <td>7教材(33頁)</td> <td>15教材(78頁)</td> <td>8教材(38頁)</td> <td>(13頁)</td> <td>37教材(197頁)</td> </tr> </tbody> </table>					A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1学年	7教材(36頁)	8教材(30頁)	14教材(67頁)	8教材(40頁)	(16頁)	37教材(189頁)	2学年	7教材(30頁)	7教材(37頁)	14教材(72頁)	9教材(45頁)	(13頁)	37教材(197頁)	3学年	7教材(35頁)	7教材(33頁)	15教材(78頁)	8教材(38頁)	(13頁)	37教材(197頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1学年	7教材(36頁)	8教材(30頁)	14教材(67頁)	8教材(40頁)	(16頁)	37教材(189頁)																										
2学年	7教材(30頁)	7教材(37頁)	14教材(72頁)	9教材(45頁)	(13頁)	37教材(197頁)																										
3学年	7教材(35頁)	7教材(33頁)	15教材(78頁)	8教材(38頁)	(13頁)	37教材(197頁)																										
量成	<p>○北海道の地域素材を掲載している教材数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～2箇所（「どうせ無理」という言葉に負けない 植松努：芦別、郷土のことを考える アイヌ古式舞踊：北海道） ・第2学年～1箇所（我、ここに生きる 道下俊一：霧多布） ・第3学年～5箇所（背番号15が歩んだ道——黒田博樹 北海道日本ハムファイターズ：北海道、受け継がれる思い：北海道、高く遠い夢：藻岩山、足袋の季節：小樽、将来の姿をイメージしよう 酪農家：北海道） 																															
等	<p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～65 ・第2学年～49 ・第3学年～35 																															
配使用	<p>○各学年に、学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳の授業はこんな時間に」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「Dマーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>																															
他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>																															

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	17・教出	第1学年	道徳・702	中学道徳1 とびだそう未来へ																												
		第2学年	道徳・802	中学道徳2 とびだそう未来へ																												
		第3学年	道徳・902	中学道徳3 とびだそう未来へ																												
内容 取 扱 年 の 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学	<p>○生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～人は、何のためにこの世に生まれ、何のために今を生きているのかを考える活動</p> <p>第2学年～命のある限り精一杯生きることとは、どのように生きることかを考える活動</p> <p>第3学年～命の重さと向き合っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～身近な自然を守るために、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第2学年～自然環境の保護のために、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第3学年～人間が生活していくことと、自然を守ることには、どのような関わりがあるかを考える活動</p> <p>○伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～地域に昔からある伝統や文化を守っていくことは、なぜ大切なのかを考える活動</p> <p>第2学年～伝統の継承や新しい文化の創造のためには、どのようなことが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～日本の伝統や文化で受け継いでいきたいもの、世界に発信したいものには、どのようなものがあるか考える活動</p> <p>○情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～インターネットを扱い、ルールやマナーは、自分たちの生活になぜ必要なのかを考える活動</p> <p>第2学年～SNSを扱い、よりよく利用していくことで、得られることは何かを考える活動</p> <p>第3学年～スマートフォンや携帯電話を扱い、よりよく利用していくためには、どのようなことが大切か考える活動</p>																															
排 内 列 容 ・ の 分 構 量 成 等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話合いの視点を示す「学びの道しるべ」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合える教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技や日常の体験を想起して話し合う活動を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 ・海外の資料を用いて、グローバルな視点が養われるよう、工夫が成されている。 ・どの学年でも同じ登場人物を用いて、発達段階に応じた成長と課題が感じられるようになっている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">A主として自分自身に関すること</th> <th style="text-align: center;">B主として人との関わりに関すること</th> <th style="text-align: center;">C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th style="text-align: center;">D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</th> <th style="text-align: center;">E複数の内容項目が含まれている教材等</th> <th style="text-align: center;">総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1 学年</td> <td style="text-align: center;">8 教材(43 頁)</td> <td style="text-align: center;">8 教材(41 頁)</td> <td style="text-align: center;">12 教材(71 頁)</td> <td style="text-align: center;">7 教材(40 頁)</td> <td style="text-align: center;">(13 頁)</td> <td style="text-align: center;">35 教材(201 頁)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 学年</td> <td style="text-align: center;">7 教材(33 頁)</td> <td style="text-align: center;">7 教材(33 頁)</td> <td style="text-align: center;">16 教材(92 頁)</td> <td style="text-align: center;">5 教材(21 頁)</td> <td style="text-align: center;">(13 頁)</td> <td style="text-align: center;">35 教材(192 頁)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3 学年</td> <td style="text-align: center;">6 教材(23 頁)</td> <td style="text-align: center;">5 教材(30 頁)</td> <td style="text-align: center;">15 教材(89 頁)</td> <td style="text-align: center;">9 教材(37 頁)</td> <td style="text-align: center;">(13 頁)</td> <td style="text-align: center;">35 教材(192 頁)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年でも「集団・社会との関わり」の分量が多いが、発達段階に応じた分量の調整が成されている。 <p>○北海道の地域素材を掲載している教材数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年（2）『「どうせ無理」をなくしたい』赤平市、芦別市、植松努（赤平市・芦別市）『[資料]都道府県にゆかりのある人物と、その言葉』千代の富士（北海道） ・第2学年（4）『釧路湿原を守れ』釧路湿原、釧路市、釧路工業地帯、釧根原野、北海道学芸大学、（釧路）『地下鉄で』札幌の地下鉄（札幌市）『モノづくりのまち、東大阪の社会見学』北海道『[資料]都道府県にゆかりのある人物と、その言葉』三浦綾子（北海道） ・第3学年（5）『足袋の季節』小樽、札幌局（小樽）『もう一つの時間』北海道の自然、北海道のヒグマ（北海道）『世界に誇る「BONSAI」』北海道、千島列島、国後島『カムイモシ』アイヌ民族（北海道）『[資料]都道府県にゆかりのある人物と、その言葉』松浦武四郎（北海道） <p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～63 ・第2学年～61 ・第3学年～38 ・発達段階に応じて、特に1,2学年で厚みのある構成となっている。 					A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1 学年	8 教材(43 頁)	8 教材(41 頁)	12 教材(71 頁)	7 教材(40 頁)	(13 頁)	35 教材(201 頁)	2 学年	7 教材(33 頁)	7 教材(33 頁)	16 教材(92 頁)	5 教材(21 頁)	(13 頁)	35 教材(192 頁)	3 学年	6 教材(23 頁)	5 教材(30 頁)	15 教材(89 頁)	9 教材(37 頁)	(13 頁)	35 教材(192 頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1 学年	8 教材(43 頁)	8 教材(41 頁)	12 教材(71 頁)	7 教材(40 頁)	(13 頁)	35 教材(201 頁)																										
2 学年	7 教材(33 頁)	7 教材(33 頁)	16 教材(92 頁)	5 教材(21 頁)	(13 頁)	35 教材(192 頁)																										
3 学年	6 教材(23 頁)	5 教材(30 頁)	15 教材(89 頁)	9 教材(37 頁)	(13 頁)	35 教材(192 頁)																										

<p>使用上の配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年に、教材ごとに記入する「道徳の学びを記録しよう」や学期末や学年末に記入する「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。「家の人から」の記入欄もあり、学校と家庭との連携にも活用できる。 ○各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学びを深めるために」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「まなびリンク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
<p>他の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	38・光村	第1学年	道徳・703	中学道徳 1 きみが いちばん ひかるとき																												
		第2学年	道徳・803	中学道徳 2 きみが いちばん ひかるとき																												
		第3学年	道徳・903	中学道徳 3 きみが いちばん ひかるとき																												
内取 容扱	<p>○生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっている。</p> <p>第1学年～身近な生き物の命を尊重するためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～生きていることが当たり前ではないと感じるのは、どのようなときかを考える活動</p> <p>第3学年～生きている間に命を大切にするためには、どのような生き方をすべきかを考える活動</p> <p>○自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～人と自然がよりよい関係を築くためには、どのような考えが必要かを考える活動</p> <p>第2学年～美しい自然環境を守っていくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第3学年～自然環境を守るために、環境破壊などの問題に、どのように取り組んでいくべきかを考える活動</p> <p>○伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっている。</p> <p>第1学年～自分が住む郷土の伝統や文化をつくり、継承してきた先人には、どのような思いがあったかを考える活動</p> <p>第2学年～郷土の伝統や文化を守り、発展させるためには、自分にはどのようなことができるかを考える活動</p> <p>第3学年～郷土の伝統や文化を継承していくためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっている。</p> <p>第1学年～スマートフォンを扱い、立場の異なる人と関わり合うためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>第2学年～携帯電話やスマートフォンを扱い、上手に利用していくためには、どのような心構えが必要かを考える活動</p> <p>第3学年～インターネットを扱い、情報を発信するときには、どのようなことに配慮する必要があるかを考える活動</p>																															
学習指導要領の総則及び各教科、各																																
排内 列容 の 分構	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、多面的・多角的な見方や考え方による話し合いの視点を示す「見方を変えて」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年で、道徳的な問題を解決するためにどうすればよいかを考える発問を示す教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習を示す「人と人との関係づくり」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 ・年間を3つの「シーズン」に区切り、それぞれに、生徒の発達段階を踏まえた学びのテーマが設けられている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A主として自分自身に関すること</th> <th>B主として人との関わりに関すること</th> <th>C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th>D主として生命や自然、景観などの関わりに関すること</th> <th>E複数の内容項目が含まれている教材等</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6 教材(30 頁)</td> <td>8 教材(42 頁)</td> <td>12 教材(59 頁)</td> <td>7 教材(33 頁)</td> <td>(20 頁)</td> <td>35 教材(184 頁)</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>9 教材(43 頁)</td> <td>6 教材(34 頁)</td> <td>11 教材(62 頁)</td> <td>7 教材(33 頁)</td> <td>(20 頁)</td> <td>35 教材(192 頁)</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>8 教材(41 頁)</td> <td>7 教材(30 頁)</td> <td>12 教材(65 頁)</td> <td>6 教材(30 頁)</td> <td>(26 頁)</td> <td>35 教材(192 頁)</td> </tr> </tbody> </table>					A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、景観などの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1 学年	6 教材(30 頁)	8 教材(42 頁)	12 教材(59 頁)	7 教材(33 頁)	(20 頁)	35 教材(184 頁)	2 学年	9 教材(43 頁)	6 教材(34 頁)	11 教材(62 頁)	7 教材(33 頁)	(20 頁)	35 教材(192 頁)	3 学年	8 教材(41 頁)	7 教材(30 頁)	12 教材(65 頁)	6 教材(30 頁)	(26 頁)	35 教材(192 頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、景観などの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1 学年	6 教材(30 頁)	8 教材(42 頁)	12 教材(59 頁)	7 教材(33 頁)	(20 頁)	35 教材(184 頁)																										
2 学年	9 教材(43 頁)	6 教材(34 頁)	11 教材(62 頁)	7 教材(33 頁)	(20 頁)	35 教材(192 頁)																										
3 学年	8 教材(41 頁)	7 教材(30 頁)	12 教材(65 頁)	6 教材(30 頁)	(26 頁)	35 教材(192 頁)																										
量成 等	<p>○北海道の地域素材を掲載している教材数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～3箇所（「ソーセージ」の悲しい最後：知床，日本のお米：北海道，撮れなかった一枚の写真 吉田ルイ子：室蘭） ・第2学年～2箇所（アイヌの歌を歌いたい アイヌ文化：帯広，日本各地の世界遺産：知床） ・第3学年～3箇所（あの日生まれた命：旭川大学大学院，足袋の季節：小樽，「持続可能な開発目標（SDGs）」について知ろう：下川） <p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～48 ・第2学年～61 ・第3学年～48 																															
使用上の配慮	<p>○各学年に、教材ごとに記入する「学びの記録」や1年間の学びを振り返る「道徳の学びを振り返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各学年に、教材ごとに多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりするための学習のめあてを示す「てびき」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、二次元コード（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>																															
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>																															

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・704、道徳・705 道徳・804、道徳・805 道徳・904、道徳・905	中学道徳 あすを生きる 1、中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2、中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3、中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート																												
取扱内容 及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○生命の尊厳については、生命の連続性・有限性や他の生命との関係性などの側面からより多面的・多角的に考えられる教材を通して、生命の尊さを理解し、より深く考える活動などを取り上げている。</p> <p>○自然については、自然との関わりを深く認識することを通して、自然に対して謙虚に向き合うことの大切さとは何かや、人の力を超えた自然の力にはどのようなものがあるかを考えたり、自分のできる範囲で環境保護に貢献することとは何かを考えたりする活動を取り上げている。</p> <p>○伝統と文化については、伝統と文化の育成・継承に尽くした先人の努力とその精神に触れ、新たな文化と発展に寄与していく責務があることについて考える活動を取り上げている。</p> <p>○情報化への対応については、インターネットやSNSの扱い方を題材に、情報を活用する上でのきまりや自律心、相互理解等に関わる内容を取り上げ、情報社会を生きていくために、それらの情報をどのように活用し、何を大切にしなければならないかについて考えたりする活動を取り上げている。</p>																															
排内 列容 の 分構 量成 等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、自分や友達の考えを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、道徳的な問題の解決に向けた話し合いの手順を示す「学習の進め方」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習の流れを示した「学習の進め方」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A主として自分自身に関すること</th> <th>B主として人との関わりに関すること</th> <th>C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th>D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</th> <th>E複数の内容項目が含まれている教材等</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6 教材(37 頁)</td> <td>7 教材(41 頁)</td> <td>15 教材(78 頁)</td> <td>7 教材(41 頁)</td> <td>(34 頁)</td> <td>35 教材(231 頁)</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>6 教材(32 頁)</td> <td>7 教材(39 頁)</td> <td>15 教材(81 頁)</td> <td>7 教材(43 頁)</td> <td>(36 頁)</td> <td>35 教材(231 頁)</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>6 教材(31 頁)</td> <td>6 教材(34 頁)</td> <td>16 教材(96 頁)</td> <td>7 教材(39 頁)</td> <td>(31 頁)</td> <td>35 教材(231 頁)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○北海道地域素材として、第1学年～1箇所(人のフリミテ：洞爺湖)、第2学年～2箇所(よみがえれりもの森：えりも、足袋の季節：小樽)で取り扱っている。</p> <p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～42 ・第2学年～30 ・第3学年～36 					A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1 学年	6 教材(37 頁)	7 教材(41 頁)	15 教材(78 頁)	7 教材(41 頁)	(34 頁)	35 教材(231 頁)	2 学年	6 教材(32 頁)	7 教材(39 頁)	15 教材(81 頁)	7 教材(43 頁)	(36 頁)	35 教材(231 頁)	3 学年	6 教材(31 頁)	6 教材(34 頁)	16 教材(96 頁)	7 教材(39 頁)	(31 頁)	35 教材(231 頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1 学年	6 教材(37 頁)	7 教材(41 頁)	15 教材(78 頁)	7 教材(41 頁)	(34 頁)	35 教材(231 頁)																										
2 学年	6 教材(32 頁)	7 教材(39 頁)	15 教材(81 頁)	7 教材(43 頁)	(36 頁)	35 教材(231 頁)																										
3 学年	6 教材(31 頁)	6 教材(34 頁)	16 教材(96 頁)	7 教材(39 頁)	(31 頁)	35 教材(231 頁)																										
使用上の配慮等	<p>○各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、インターネットへリンクする「マーク」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>																															
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>																															

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	224・学研	第1学年	道徳・706	新・中学生の道徳 明日への扉 1																												
		第2学年	道徳・806	新・中学生の道徳 明日への扉 2																												
		第3学年	道徳・906	新・中学生の道徳 明日への扉 3																												
取扱内容 及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○生命の尊厳については、「命の教育」を重点テーマとし、他の内容項目の教材とともに「命の大切さ」を考える教材を扱い、生命の連続性や偶然性、連続性について理解し、「生命の尊さ」を多面的・多角的に考える活動などを取り上げている。</p> <p>○自然については、自然環境を大切にすることの意義について理解し、自然と共存しながら自然環境の保全や環境問題の解決に向けて、自分たちはどのように自然と関わればよいかを考える活動を取り入れている。</p> <p>○伝統と文化については、地域や古くから伝わる日本の魅力ある文化、それらを守り受け継いでいくために大切なこと、日本の伝統を継承する暮らしとはどのようなことかを考える活動を取り上げている。</p> <p>○情報化への対応については、情報モラルの題材を系統的に扱い、いじめや日常の事故を防ぐこと、異なる意見を尊重するために大切なこと、周囲の人たちに配慮して使うことなどについて、どのようなことに気を付ければよいかをよいかを話し合う活動を取り上げている。</p>																															
排内 列容 の 分構 量成 等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの視点を示す「話し合おう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「見つけよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習を示す「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A主として自分自身に関すること</th> <th>B主として人の関わりに関すること</th> <th>C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th>D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること</th> <th>E複数の内容項目が含まれている教材等</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>8 教材(36 頁)</td> <td>7 教材(34 頁)</td> <td>13 教材(60 頁)</td> <td>7 教材(32 頁)</td> <td>(21 頁)</td> <td>35 教材(183 頁)</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>8 教材(44 頁)</td> <td>7 教材(32 頁)</td> <td>12 教材(60 頁)</td> <td>8 教材(38 頁)</td> <td>(21 頁)</td> <td>35 教材(195 頁)</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>8 教材(38 頁)</td> <td>8 教材(38 頁)</td> <td>12 教材(60 頁)</td> <td>7 教材(36 頁)</td> <td>(23 頁)</td> <td>35 教材(195 頁)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○北海道の地域素材として、第1学年～2箇所(諦めなければ夢は叶う 式町水晶：北海道、ロコ・ソラーレ：北見)、第2学年～3箇所(鳥のように空を飛びたい：上川、星置の滝：札幌、足袋の季節：小樽)、第3学年～1箇所(町工場から宇宙へ：赤平)で取り扱っている。</p> <p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年～60 第2学年～64 第3学年～58 					A主として自分自身に関すること	B主として人の関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1 学年	8 教材(36 頁)	7 教材(34 頁)	13 教材(60 頁)	7 教材(32 頁)	(21 頁)	35 教材(183 頁)	2 学年	8 教材(44 頁)	7 教材(32 頁)	12 教材(60 頁)	8 教材(38 頁)	(21 頁)	35 教材(195 頁)	3 学年	8 教材(38 頁)	8 教材(38 頁)	12 教材(60 頁)	7 教材(36 頁)	(23 頁)	35 教材(195 頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人の関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1 学年	8 教材(36 頁)	7 教材(34 頁)	13 教材(60 頁)	7 教材(32 頁)	(21 頁)	35 教材(183 頁)																										
2 学年	8 教材(44 頁)	7 教材(32 頁)	12 教材(60 頁)	8 教材(38 頁)	(21 頁)	35 教材(195 頁)																										
3 学年	8 教材(38 頁)	8 教材(38 頁)	12 教材(60 頁)	7 教材(36 頁)	(23 頁)	35 教材(195 頁)																										
使用上の配慮等	<p>○各学年に、自分を見つめる「マイプロフィール」や心の成長を振り返る「心の四季」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「考えを深める四つのステップ」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>																															
その他	<p>※ 中学校用教科書目録(令和3年度使用 文部科学省)による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>																															

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	232・廣あかつき	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・707、道徳・708 道徳・807、道徳・808 道徳・907、道徳・908	中学生の道徳 自分を見つける1、中学生の道徳/ノート 自分を見つける1 中学生の道徳 自分を考える2、中学生の道徳/ノート 自分を考える2 中学生の道徳 自分を伸ばす3、中学生の道徳/ノート 自分を伸ばす3																												
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>○生命の尊厳については、家族愛や生命倫理に関わることを教材にしながら、生命のかけがえのなさや有限性、多面性や生命の尊さとは何か、生命の尊厳を守るためにはどのようなことが大切かを考えたりする活動を取り上げている。</p> <p>○自然については、自然愛護のためにはどのようなことができるか、自然の崇高さを知り自然を愛する心とはどのようなものか、また、人間の営みと自然の営みとの関わりとはどのようなことかを考える活動を取り入れている。</p> <p>○伝統と文化については、日本の優れた伝統や文化を見つけ継承に尽くしてきたのはどうしてか、大きな危機を乗り越えても郷土の伝統や文化を守ろうとする思いとはどのようなものか、また、優れた伝統の継承や新しい文化の創造のために自分たちができることは何かを考える活動を取り上げている。</p> <p>○情報化への対応については、インターネットやSNSを扱い、利用する場合には、自主性や自律性、自由と責任を大切にしなければならないことや、それらに振り回されないためにはどのようなことを心がけたらよいか、また、ネット社会における人間関係の在り方について話し合う活動を取り上げている。</p>																															
排内 列容 の 分構 量成 等	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年の別冊に、感じたことや考えたことを記入する欄を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けて話し合うことができる教材を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技による学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A主として自分自身に関すること</th> <th>B主として人の関わりに関すること</th> <th>C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th>D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること</th> <th>E複数の内容項目が含まれている教材等</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>8 教材(43 頁)</td> <td>7 教材(39 頁)</td> <td>12 教材(51 頁)</td> <td>8 教材(39 頁)</td> <td>(52 頁)</td> <td>35 教材(224 頁)</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>8 教材(32 頁)</td> <td>7 教材(28 頁)</td> <td>12 教材(61 頁)</td> <td>8 教材(29 頁)</td> <td>(58 頁)</td> <td>35 教材(208 頁)</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>8 教材(34 頁)</td> <td>7 教材(23 頁)</td> <td>12 教材(58 頁)</td> <td>8 教材(31 頁)</td> <td>(58 頁)</td> <td>35 教材(204 頁)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○北海道の地域素材として、第1学年～1箇所（地下鉄で：札幌）、第2学年～2箇所（野生の猛禽を守るために：釧路、足袋の季節：小樽）、第3学年～2箇所（原稿用紙：札幌、襟裳のこと：襟裳）で取り扱っている。</p> <p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～13 ・第2学年～14 ・第3学年～26 					A主として自分自身に関すること	B主として人の関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1 学年	8 教材(43 頁)	7 教材(39 頁)	12 教材(51 頁)	8 教材(39 頁)	(52 頁)	35 教材(224 頁)	2 学年	8 教材(32 頁)	7 教材(28 頁)	12 教材(61 頁)	8 教材(29 頁)	(58 頁)	35 教材(208 頁)	3 学年	8 教材(34 頁)	7 教材(23 頁)	12 教材(58 頁)	8 教材(31 頁)	(58 頁)	35 教材(204 頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人の関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること	E複数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1 学年	8 教材(43 頁)	7 教材(39 頁)	12 教材(51 頁)	8 教材(39 頁)	(52 頁)	35 教材(224 頁)																										
2 学年	8 教材(32 頁)	7 教材(28 頁)	12 教材(61 頁)	8 教材(29 頁)	(58 頁)	35 教材(208 頁)																										
3 学年	8 教材(34 頁)	7 教材(23 頁)	12 教材(58 頁)	8 教材(31 頁)	(58 頁)	35 教材(204 頁)																										
使用上の配慮等	<p>○各学年の別冊に、心に残った教材やその理由を記入する「心に残っている授業の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各学年に、教材ごとに考えを広げたり、深めたりするための学習の流れを示す「考える・話し合う」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習として、「インターネット」マーク（QRコード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>																															
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>																															

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名																												
観点	233・日科	第1学年 第2学年 第3学年	道徳・709 道徳・809 道徳・909	道徳 中学1 生き方から学ぶ 道徳 中学2 生き方を見つめる 道徳 中学3 生き方を創造する																												
取扱内容	<p>○生命の尊厳については、次のような学習活動を取り上げ、生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることができるようになっていく。</p> <p>第1学年～先祖から子孫へ受け渡していく生命の連続性について、自分はどのようなことを感じるかを考える活動</p> <p>第2学年～人が生命を尊重したり、人の命を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動</p> <p>第3学年～生命に対して多様な考えがある中で、生命の尊厳を守るためには、どのようなことが大切かを考える活動</p> <p>○自然については、次のような学習活動を取り上げ、自然の美しさや偉大さ、不思議さを感じるることができるようになっていく。</p> <p>第1学年～人が自然環境の維持を願ったり、自然を守ったりするために行動するのはなぜかを考える活動</p> <p>第2学年～自分にとって、地球の未来のためにできることは、どのようなことかを考える活動</p> <p>第3学年～自分がこれまで出会った自然の美しさには、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○伝統と文化については、次のような学習活動を取り上げ、有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じることができるようになっていく。</p> <p>第1学年～家族や地域の人々は、郷土に対して、どのような思いをもっているかを考える活動</p> <p>第2学年～地域の伝統行事は、郷土の人々にとって、どのような意味があるかを考える活動</p> <p>第3学年～身の回りがある長く受け継がれてきた日本人の技や知恵には、どのようなものがあるかを考える活動</p> <p>○情報化への対応については、次のような学習活動を取り上げ、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「自主、自律、自由と責任」など関わりのある道徳的価値について考えを深めることができるようになっていく。</p> <p>第1学年～SNSを扱い、メッセージのやりとりを通して友達との関係をよくするためには、どのような配慮が必要かを考える活動</p> <p>第2学年～インターネットを扱い、コミュニケーションを図る上で、どのような配慮が必要かを考える活動</p> <p>第3学年～スマートフォンを扱い、インターネットを介してコミュニケーションをとるときに大切なことは、どのようなことかを考える活動</p>																															
学年の目標、内容等	<p>○学習指導要領の総則及び各教科、各</p>																															
排内	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、考えを深めるための話し合いの視点を示す「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」を配置し、生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるように工夫されている。 ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的な問題の解決に向けた視点を示す「考え、話し合ってみよう」として、深めよう」を配置し、様々な道徳上の問題や課題を多面的・多角的に考え、主体的に判断し実行し、よりよく生きていくための資質・能力が養われるように工夫されている。 ・体験的な学習については、各学年に、道徳的行為に関する体験的な学習に取り組むことができる教材を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるように工夫されている。 <p>○各学年の内容項目の分量については、次のようになっている。</p>																															
列容	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>A主として自分自身に関すること</th> <th>B主として人との関わりに関すること</th> <th>C主として集団や社会との関わりに関すること</th> <th>D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること</th> <th>E履数の内容項目が含まれている教材等</th> <th>総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6 教材(28 頁)</td> <td>8 教材(33 頁)</td> <td>17 教材(78 頁)</td> <td>6 教材(25 頁)</td> <td>(28 頁)</td> <td>37 教材(192 頁)</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>7 教材(28 頁)</td> <td>8 教材(36 頁)</td> <td>15 教材(67 頁)</td> <td>7 教材(32 頁)</td> <td>(29 頁)</td> <td>37 教材(192 頁)</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>7 教材(33 頁)</td> <td>7 教材(32 頁)</td> <td>15 教材(66 頁)</td> <td>8 教材(38 頁)</td> <td>(23 頁)</td> <td>37 教材(192 頁)</td> </tr> </tbody> </table>					A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること	E履数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数	1 学年	6 教材(28 頁)	8 教材(33 頁)	17 教材(78 頁)	6 教材(25 頁)	(28 頁)	37 教材(192 頁)	2 学年	7 教材(28 頁)	8 教材(36 頁)	15 教材(67 頁)	7 教材(32 頁)	(29 頁)	37 教材(192 頁)	3 学年	7 教材(33 頁)	7 教材(32 頁)	15 教材(66 頁)	8 教材(38 頁)	(23 頁)	37 教材(192 頁)
	A主として自分自身に関すること	B主として人との関わりに関すること	C主として集団や社会との関わりに関すること	D主として生命や自然、器用なものとの関わりに関すること	E履数の内容項目が含まれている教材等	総ページ数																										
1 学年	6 教材(28 頁)	8 教材(33 頁)	17 教材(78 頁)	6 教材(25 頁)	(28 頁)	37 教材(192 頁)																										
2 学年	7 教材(28 頁)	8 教材(36 頁)	15 教材(67 頁)	7 教材(32 頁)	(29 頁)	37 教材(192 頁)																										
3 学年	7 教材(33 頁)	7 教材(32 頁)	15 教材(66 頁)	8 教材(38 頁)	(23 頁)	37 教材(192 頁)																										
の																																
分構																																
量成	<p>○北海道の地域素材を掲載している教材数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～0 ・第2学年～3箇所（もっと知りたいわれ太平洋の橋とならん 新渡戸稲造：札幌，コンスタンチン君命のリレー：北海道，足袋の季節：小樽） ・第3学年～0 																															
等	<p>○いじめの問題に関する教材のページ数については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年～19 ・第2学年～12 ・第3学年～12 																															
慮使用上の等配	<p>○各学年に、学年末に記入する「○年生の心の成長を振り返りましょう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○各学年に、オリエンテーションで道徳科の基本的な学習の流れを示す「道徳科って何を学ぶの？」を配置し、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○全ての生徒が多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりしながら学習することができるよう教科書の使い方を示すページを配置するなど、使用上の便宜が図られている。</p>																															
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和3年度使用 文部科学省）による</p> <p>○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>																															